

# 平成29年度予算に係る 教育委員会重点事項

---

- ①教育広報の充実      ②不登校対策の推進

# ①教育広報の充実

---

○広報紙とwebサイトをトータルでコーディネート！

①教育広報紙のリニューアル 新タイトル「ガク☆チキ」 要求額1,716千円

>コンセプト 企画型, 参加型の広報紙

>「心を動かす」記事, 紙面構成→読売新聞社の全面協力

②教育委員会サイトの再構築 (<http://www.komae.ed.jp>)

>Webの特性を生かした機能の活用(動画再生, ネット申請など)

>広報紙との連動(「続きはWebで...」, QRコードによるWebサイトへの誘導 )

>学校ホームページとの連動(RSS機能)

## ②不登校対策の推進(1)

○従前の取組み

- ・適応指導員 3人×125日勤務(教育研究所勤務, 学校に派遣)
- ・スクール・ソーシャルワーカー 2人(教育研究所勤務, 学校に派遣)
- ・ゆうあいフレンドの派遣 年20時間(学校や家庭を訪問。話し相手・遊び相手・相談相手)

+

○28年度から開始した取組み(文部科学省モデル事業関係)

- ・小菅村留学体験事業(28年度は9月・10月に実施。延べ11名の児童・生徒が参加)
- ・不登校対策連絡協議会の開催 (療育関係者, 小児医療関係者, フリースクール代表, 学校長, 市職員(福祉・児童), 教育研究所職員で構成)

28年度

## ②不登校対策の推進(2)

### ■29年度の取組み(新規・拡充分)

これまでの取組み(適応指導員・SSW・不登校対策連絡協議会)に加えて,

#### ①小菅村留学体験事業の継続 要求額1,011千円

・年2回実施(宿泊1回, 日帰り1回) 小菅村での交流活動・体験活動

#### ②ゆうあいフレンドの拡充 要求額400千円

・年20時間→年200時間に拡大。

#### ③学生有償ボランティア(新規) 要求額40千円

・年20時間

#### ④その他, フリースクールの活動支援の経費を文科省モデル事業に応募予定(※3,000千円規模)

→相談員として心理面のケアを行う

→学習や体験活動の支援を行う